

情勢報告（平成28年7月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

老朽ユズ園の更新による省力・安定生産への転換



大砂子のユズ展示園

6月18日、大豊町大砂子集落でユズ栽培研修会を開催しました。ユズ部会員16名が参加し、普及所は園地改良に活用できる補助事業の紹介や夏期の肥培管理、病虫害防除技術について講習しました。

会終了後のユズ部役員との話し合いでは園地改良や省力技術の導入を積極的に進めていくことになり、大砂子集落のユズ生産者の熱心さが伺えました。

今後、普及所は、役員と協力して園地マップの作成やモノレール等の整備を進めるとともに、作業を軽減する低樹高仕立てや土着天敵の活用技術の実証展示を行い、当集落がユズの省力・安定生産のモデル集落となるよう重点的に支援していきます。

嶺北地区農村女性リーダー視察研修



視察研修の様子

6月22日、普及所が企画調整を行い、嶺北地区農村女性リーダーの視察研修を行いました。10名が参加し、（株）十和おかみさん市の直販所「十和の台所」（四万十町）の事例研修の後、四万十町及び四万十市の女性リーダーと情報交換を行いました。

参加者からは「何もやらんで後悔するより、やってみよう」「仲間と行動につなげていくことが大切」といった声が聞かれ、6次産業や直販活動などを考えて行くうえで参考となりました。

今後も普及所は、農村女性リーダーの自主的活動を支援していきます。

コープかがわで販売促進～消費者に試食宣伝～



コープかがわ総代へ試食PR

6月27日、450名が参加し、コープかがわ総代試食交流会が香川県県民ホールで開催され、JA土佐れいほく園芸部と柚子部会生産者4名、JA職員2名、普及所1名が、園芸部が取り組む環境保全型農業のPRとれいほく八菜及びユズジュースの試食宣伝をしました。

同園芸部は、平成21年からコープかがわとの契約販売に取り組み、毎年、産地見学会や出前授業、店頭販売などを通じて産地のPRを行っています。

今回は、普及所から、柚子部会へ交流会の参加を呼び掛け、ユズジュースの試食宣伝を提案しました。生協総代役員から「今後も嶺北の取組について応援したい」の声を受け、参加した生産農家も販促の手ごたえを実感したようです。今後も普及所は、JAと連携し、コープかがわとの販売取引の強化に向けて支援していきます。

さくら茶屋フル開店へGO！！



さくら茶屋衛生管理研修会

6月29日、さくら茶屋運営委員会がJA土佐れいほく本山支所で、茶屋の運営会議と衛生管理研修会を開催し、加工グループ15名が参加しました。普及所は研修会の調整や会議資料の作成などを支援しました。

運営会議では、さくら茶屋利用規定を決め、7月から日曜開店に向けて各グループが調整を行いました。衛生管理研修会では、保健所の講義を受けて、「衛生管理基準の作成やPL保険に加入したい」などの活発な意見が出ました。

今後、普及所はさくら茶屋の開店日が増えるよう支援していく予定です。

指導員の指導力アップに向けて ～営農指導員勉強会を開催～



勉強会の様子

7月5日、普及所は管内JA営農指導員の指導力向上を目的にJA土佐れいほく本所で勉強会を開催し、営農指導員のほかに、JA購買担当者や農業法人研修生を含めた16名が参加しました。

今回は「病虫害防除と農薬適正使用」として、病虫害診断や農薬使用の実用技術について講習しました。参加者からは「耐性菌対策としてFRACコードをどのように活用していくのか」などの質問も出され、今後の指導方法について議論を行いました。

今後も普及所は指導員の資質向上に向けたテーマで勉強会を開催し、指導力アップに努めていく予定です。

大豊町の農業活性化に向けて！～第1回運営委員会を開催～



事業内容について協議

大豊町中山間農業活性化協議会は、7月7日に大豊町農業センターで本年度第1回運営委員会を開催し、町・県・普及所など関係者8名が出席しました。国の農村集落活性化支援事業は2年目となり、会では昨年度の実施状況及び今年度の計画を確認し、事業の進め方について検討しました。

普及所は、引き続き事業実施の核となる(株)大豊ゆとりファームの農業生産部門の収益向上と研修部門の担い手育成を支援し、特に新規就農者研修事業部会で担い手の確保・育成について、重点的に取り組んでいきます。